



とっても
コワイ

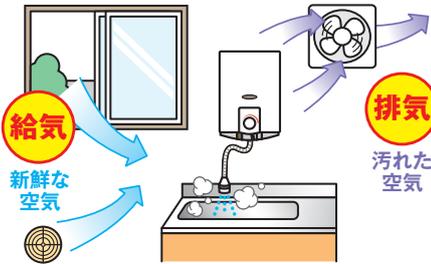
(一酸化炭素)

CO中毒事故を 3つの約束で 防ぎましょう。

👉 換気を
忘れない! 👉 お掃除も
しっかり! 👉 備えて
安心を!

約束の1

換気を忘れない!



燃焼機器を使う時は換気扇、排気ファンを回し、ときどき窓を開けるなど必ず換気(給気と排気)を行い、新鮮な空気に入れ換えましょう。

【業務用厨房でお使いの皆さまへ】

換気を行わなかったことによるCO中毒事故が発生しています。

- 仕込み中や開店時、つねに換気扇が回っているかを確認しましょう。
- 給排気口が荷物等で塞がっていないか確認しましょう。



約束の2

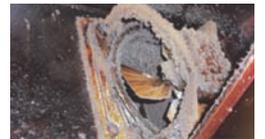
お掃除もしっかり!



コンロのバーナー部分や換気扇などの油やほこりによる汚れはCO発生の原因になります。定期的にお掃除やお手入れをしましょう。

【業務用厨房でお使いの皆さまへ】

業務用厨房施設では、フード内やダクト内に油や食材による汚れがたまりやすく、換気不足につながります。こまめにお掃除やお手入れをしましょう。



見逃していませんか? 赤い炎は異常のサイン!

燃焼機器の異常燃焼時には炎が赤い、鍋や壁にススが付くなどの現象がおきます。これらの異常に気付いたらLPガス販売店などにすぐに連絡しましょう。



約束の3

備えて安心を!



CO警報器

業務用換気警報器

気づきにくいCOの発生をブザーや音声でいち早く知らせる「CO警報器」を設置し、事故を未然に防ぎましょう。

- CO警報器の多くは設置しやすい電池式ですが、その設置には適切な場所があります。詳しくはLPガス販売店に相談ください。
- コンセント式のCO警報器では、清掃などでコンセントを取り外した時は、電源を必ず元通りにしてください。

【業務用厨房でお使いの皆さまへ】

換気警報器が鳴っているにもかかわらず、CO中毒の症状がないため、誤報と判断して警報器の電源を抜いた結果、事故に至った場合もあります。給気と排気を最優先に行うと共に不適切な使用は絶対にやめましょう。



ガスメーター(マイコンメーター)の機能と表示

地震が発生した時など



地震時の機能

- ガスを使用中に強い地震(震度5相当以上)が起きたとき、自動的にガスをしゃ断します。ガスを使用していないときは、ガスをしゃ断しない機能になっています。
- 地震で配管の折損やゴム管がはずれたときなど、大量のガスが流れたとき、自動的にガスをしゃ断します。

ガスしゃ断時の表示

- ガスの流れや圧力などに異常があると、自動的にガスをしゃ断し、原因が表示されます。



※ガス警報器とガスメーターが連動している場合、警報が鳴ったときも地震しゃ断と同じ表示になります。



ガスメーターの復帰方法

- ガス漏れやガス臭いときは、復帰操作をせずLPガス販売店に連絡してください。
- 地震しゃ断表示でない場合は、LPガス販売店の点検を受けてください。

次の手順で復帰操作を行ってください。

- 器具栓をすべて閉めてください。
 - 使っていないガスの元栓が閉まっていることを確認してください。
- 左側の復帰ボタンを押してください。
 - 「ガス止」の文字が消えます。
- 液晶の文字とランプが点滅します。
 - 1分間お待ちください。
 - ※ランプが復帰ボタン部にあるものもあります。
- 液晶の文字とランプが消えます。
 - 復帰完了です。
 - ガスは使えます。

※復帰操作をしても復帰しない場合(再び「ガス止」表示が出る)は、復帰操作を繰り返さずLPガス販売店の点検を受けてください。

雪の重さは大敵! 雪害事故にご注意を

屋根からの落雪

屋根からの落雪があった時は、ガス設備の確認をしてください。

雪下ろしによる損傷

雪下ろしの時は、お隣りのガス設備にも注意してください。

お願い

緊急時に容器バルブを閉止できるよう、ガス設備周りの通路を除雪しておきましょう。

LPガス販売店

